

施設名 福井市東山健康運動公園

所在地	福井市寮町50-5
所管所属	建設部公園課

1 指定管理者の概要

名称	公益財団法人 福井市ふれあい公社	代表者	西行 茂
所在地	福井市日之出4丁目3-12		

2 指定管理期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日（第4期目）

3 施設の利用等の状況

	(H17年度) 導入前年度	第1期目	第2期目	第3期目	第4期目				
		H18～22年 (平均)	H23～27年 (平均)	H28～R2年 (平均)	R3年度 (16年目)	R4年度 (17年目)	R5年度 (18年目)	R6年度 (19年目)	R7年度 (20年目)
利用者数 (人)	82,796	121,587	137,394	125,234	101,920	104,069			
前年度比 (人)					30,174	2,149			
前年度比 (%)					42.1	2.1			
利用料金 (千円)		49,657	56,894	52,364	46,512	49,050			
前年度比 (千円)					15,070	2,538			
前年度比 (±%)					48	5			

4 指定管理料の状況

第4期目	R3年度 導入16年目	R4年度 導入17年目	R5年度 導入18年目	R6年度 導入19年目	R7年度 導入20年目
指定管理料	154,428千円	154,428千円			

5 要求基準と達成状況（進捗状況）

要求基準	達成状況
利用者数 140,000人	令和4年度 年間利用者数 104,069人 (達成率74.3%)
健康づくりの情報を市民に周知し、意識啓発する事業を行う。	・生活習慣病予防講座、健康維持・増進講座、介護予防講座(岡保デイ含む。)、生きがいきり講座、プールレッスン等の開催 50講座 1,667回 29,237人 ・指定運動療法促進事業の開始(7月～) 20名利用、延べ利用回数 440回 ・ホームページ、QRコードの活用、館内での掲示及び公共施設等へのチラシ設置等による健康づくりの情報発信

6 利用者から寄せられた苦情・意見等及びその対応状況

○ 新型コロナウイルス感染防止対策について

内容：男女クアハウス脱衣場内の冷水器を再開して欲しい。

対応：類似施設の使用状況を確認するとともに熱中症予防対策を考慮して、6月4日より使用を再開した。

内容：プールフリーコース内を歩行する利用者が大声で会話をしているが、監視員の注意喚起が不十分である。

対応：都度、利用者には密にならないように注意、説明した。特にプールフリーコースで、話しながらウォーキングしている利用者には、感染症対策（密にならない、話しながら歩かない等）注意喚起放送を毎時1回（混雑する時間帯は30分1回）に増やすと共に監視員の注意喚起も行って、施設利用の安心感を高めた。

内容：サウナ室内の人数制限（男女各3名）を5人までにして欲しい。

対応：サウナ室内の対人距離を確保するため、人数制限を3人までとした。人数制限の変更については、今後の新規感染者数、類似施設などの状況を確認したうえで実施することを伝え、理解を得た。

○ 施設の利用について

内容：土曜日に開催されていた水泳の定期講座が令和5年度より無くなっている。無くなった理由を説明して欲しい。

対応：定期講座の日程及び内容については、実施状況やアンケート調査等に基づいて、毎年見直しを行っている。

今回の件については、担当講師と相談して水泳のスキルアップ、泳力向上を図るために、水中運動を取り入れることとした。また、火曜日には初級水泳を増設したことを回答し理解を求めた。

内容：7月1日から県の条例改正により、男女更衣室の混合利用が7歳未満までとなるため、対応を考えて欲しい。

対応：7歳以上の子と異性の保護者が利用する場合は、多目的更衣室や男女各更衣室通路に専用の更衣ブースを新規に設置して対応した。

7 利用促進等に向けた取組みの実施状況

計 画	実 施 状 況
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・講座案内やウォータースライダーの運行ポスター、チラシ等にQRコードを掲載し検索性を高めた。 ・チラシ等を医療機関や道の駅等7か所に設置するほか、新聞（福井新聞ぷりん、日韓県民福井：さんぼみち）、フリーペーパー（ファミリー、fu）やホームページ、広報ふくいを活用して情報発信に努めた。 ・12月にはホームページをリニューアルし施設の案内や講座・レッスンを閲覧しやすいようにした。
講座内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による各種講座やポールやダンベルを使った無料講座などを行い利用促進した。 ・利用者の関心の高い各種講座のほか、短時間の講座も組み入れ、運動の楽しさを体験できるように充実を図った。 ・地元地区からの要望を受け、各集落センターにて自治会型デイホームの体操指導を行った。
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・若い年代層はもとより、女性や高齢者も使いやすいトレーニング機器を充実させるために胸のエクササイズができる最新のトレーニング機器（フライ）を導入し、利用者に効果的な運動方法の説明を行った。 ・館内掲示や講座申込時に運動療法の案内・説明などの

計 画	実 施 状 況
	<p>周知活動を積極的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体組成計(インボディ)による、定期的に測定日を設け、筋肉量などの測定値についてのアドバイスをを行い、継続して測定する利用につなげた。 ・健康相談室やトレーニングルームで、利用者からの健康に関する不安や疑問を常時受け付け、専門的見地からアドバイスを行うことで健康的な生活習慣の定着を図った。 ・館内掲示板に生活習慣病予防のための運動や食生活に関する情報を掲示し、健康意識の高揚を図った。 ・受講しやすいレッスン（ショートレッスンや 100 円レッスン）を午前中に充実させ、利用者へのサービス向上に努めた。 ・プール更衣室やクアハウスで生じる床の水濡れが軽減するよう、点検や清掃を頻繁に行い、安全で衛生的な環境を提供できた。 ・施設利用者対象に施設全般についてのアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握することに努めた。 ・ロビーに意見箱を設置し、利用者から幅広く意見を聴き、夏季期間、プール水温が上昇して熱いとの意見には、ろ過装置の逆洗回数を増やして、補給水を入れるなどの対応や夏場の水風呂の水温を下げて欲しい、冬場には冷えすぎないように欲しいとの要望には、季節に応じた給水バルブの再調整を行い業務改善を行った。
地域のスポーツ推進・人材育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・50mプールを学生や障害者団体の練習の場として提供した。

8 施設、設備の維持管理の状況

項 目	実施状況及び確認方法
保守点検、運転、監視業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
清掃業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
保安警備業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
備品管理	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
小規模修繕	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）

9 指定管理者のコメント

今年度の利用者数は104,069人で、前年度101,920人に対し、2,149人（2.1%増）増加した。新型コロナ感染症の影響のない元年度の129,203人に対しては、25,134人減（19.5%減）と大幅に下回り、要求基準の達成率は74.3%となった。コロナ禍が継続する中、4～6月は前年度比2.5%増の利用状況であったが、7～9月は、新型コロナ感染症第7波による感染者数の急増に猛暑及び天候不順も加わり、特に夏休み期間中のプール利用者数が減少したため、前年度比8.3%減となった。10～3月は10月末から始まった新型コロナ感染症第8波や12月に大雪があったものの、コロナ禍での移動自粛などの各種規制が徐々に緩和され、日常生活の回復が見られたことにより前年度比8.8%増となった。

利用者の内訳をみると、前年度は大人の利用が44.4%、小人の利用が5.3%、高齢者の利用が41.8%であるのに対し、今年度は大人の利用が44.1%、小人の利用が4.7%、高齢者の利用が43.1%となり、大人、小人の利用が減少し、高齢者の利用が増加した。原因として大人、小人は、第7・8波のコロナ禍で子供の感染者が増え、家族での外出ができなかったことにより減少、また、高齢者は重症化リスクの少ない利用者が元々多かったことやワクチン接種率が高いことで、コロナ禍でも

増えたと考えられる。

SDGsの理念のもと、性的マイノリティーの人権に配慮する観点から、利用者カードの見直しを福井市に準じて図り、性の多様化に配慮したカードに変更した。利用者に対して丁寧な説明を行い、理解や協力が得られた。

自主事業については、検温・消毒の実施や健康チェック表の記入などの感染症対策を徹底して行った。利用者に安心感が浸透し、プールレッスン受講者は昨年に比べ増加、生きがいきり講座も定員を超えた申込みが見られ、年間を通して集客が図れた。また、利用者からの要望に応じ、秋のイベントを新たに企画したほか、職員による100円レッスンを追加して実施し好評を得た。

運動療法については、周知活動の効果により利用者が増加した。健康づくりの拠点としてサポートを行い、療法利用者が講座を受講することも増え継続的な運動に貢献できた。医療費控除の対象になるように運動療法実施証明書類も適正に発行することができ、指定運動療法施設としての効用も発揮できた。

ウォータースライダーについては、小中学校の夏季休業期間の、7月21日から8月26日までの37日間運行した。天候不順もあり利用者が昨年より減少したが、安全・安心で快適な運行ができるよう監視体制を整えた。延べ6,520人の利用があり、子供たちが楽しんだ。

岡保地区自治会型デイホーム事業への職員（健康運動指導士）による出前講座は、新型コロナウイルス感染症拡大により8月のみ中止となったが、6～3月までの間、11町内で実施し、177人の参加があった。

デイホーム事業の好評を得て、9月には岡保老人クラブ連合会からの要請により健康講座を開催し、健康づくり（フレイル予防）の指導を行った。岡保地区を始め近隣の地区から35人の参加があった。

8月には、昨年に引き続き岡保地区東山観光協会による写真展を館内ラウンジにて開催し、地域の福祉や文化事業に協力した。

施設・設備の老朽化については、総合点検の実施により異常や破損の早期発見や職員間の情報共有による経過観察の強化に取組み、安全・安心を第一に管理運営に努めた。

隣接する福井市新ごみ処理施設の整備工事については、運動公園敷地の一部が施工範囲となっているため、利用者に不都合や危険が生じないように事前打ち合わせ等を行い、福井市との連携に努めた。

新年度では、安全・安心な施設づくりを引き続き行い、アフターコロナを見据えて利用者の健康維持、増進の意識の高まりを受け止める施設として、魅力ある施設や講座の発信を行い、健康増進施設・指定運動療法施設として、利用者サービスを重視した良心的で効率的な管理運営に努めていく。

10 所管所属の所見

新型コロナウイルス感染症拡大による利用者数、利用料収入が目標に達しなかったのはやむを得ない。施設としては感染拡大防止に努め、利用者の安全・安心な利用に寄与しながらも利用者数の増加があったことは大いに評価できるものとする。

そのほか、福井市に準じての多様化に配慮したカードに迅速に変更したことも評価できる。

利用者アンケート等からサービスに係る課題を抽出し、講座内容を見直し、受講しやすい100円レッスン等を午前中に充実させることや、ハンドソープの設置要望を受けクアハウスの洗面台にハンドソープを設置するなど、利用者の声を即座に反映させる努力がうかがえる。

また、アンケートの満足度の結果を見ても、職員の指導方法や丁寧な対応、講座の充実していることについて、利用者から高く評価をされていることから、日頃から丁寧な対応を心掛けていることが伺える。

運動療法については、福井市民の健康につながり医療費控除の対象になるため、さらなるPRと利用促進が望まれる。

令和5年度について、新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたことから、外出を控えていた市民も外出するようになると予想されるため、利用者の増加に対応したより良い利用サービスを期待したい。

また施設のPR方法としてSNSを利用した情報発信が弱いように感じるため、既存の紙媒体の発信にとどまらず、SNSでの積極的な情報発信に努めていただきたい。

モニタリング評価シート

評価項目	視点	評価		方法	採点理由
		指定管理者	所管所属		
(1) 管理運営					
(ア) 維持管理業務	保守管理 ・清掃、法令点検の確実な実施	5	5	・点検名、実施回数等のリストの確認 ・関係書類の確認等	6月29日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	保安業務 ・保安警備の実施状況	5	5	・機械警備についての確認 ・職員による巡回警備の確認等	6月29日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	備品管理 ・適正な備品管理、台帳の整理 ・市の備品と指定管理者の備品の区分け	4	4	・現地調査で台帳と照合等	6月29日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(イ) 運営業務	利用時間や休館日の設定状況 ・条例に基づいた営業内容か	5	5	・業務日報等の確認等	6月29日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	受付・承認・利用料金の收受と管理 ・一連の事務の適正な実施	5	5	・関係書類や現地調査により確認等	6月29日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(ウ) 報告業務	事業報告書や収支計画書等の提出状況 ・適正な時期、内容での提出	5	5	・関係書類の確認等	6月29日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(2) サービスの内容					
(ア) 利用促進の取組	PR活動の推進 ・市政広報やマスメディアの活用 ・ターゲットを絞ったPR	5	3	・関係書類の確認等	積極的に情報発信に努めている。
	他施設や地域との連携 ・地域住民との交流 ・地域性を活かしたイベントの開催	4	4	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	地区のデイホームに職員を派遣し、講座を実施している。
(イ) サービス向上の取組み	利用者アンケートの活用 ・アンケートの積極的な実施 ・利用者の声の施設運営への反映	4	4	・関係書類の確認等	満足度調査と分析を行っている。
	自主事業の実施状況 ・自主事業の積極的な実施 ・新規プログラムの開拓	5	5	・事業報告書の確認等	コロナ禍においても、各種企画を積極的に実施している。
(ウ) 要求基準の達成状況	あらかじめ設定した数値目標の達成度 ・利用者の増減等	3	3	・事業報告書の確認等	目標には達しなかったが、コロナ禍でも利用者が増加している。
(エ) 応募時の提案事項の実施状況	提案事項の実施状況 ・提案事項の確実な実施	5	5	・事業報告書の確認等	提案事項を計画立てて、実施している。
(3) 安定性					
(ア) 管理運営体制	職員の配置状況 ・正職員とアルバイトの配置バランス ・有資格者の配置バランス ・有資格者の適切な配置	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	職員を適切に配置している。
	労働関係法令の遵守 ・適正な労働条件、環境 ・休日の適正な付与	4	4	・関係書類の確認等 ・業務日報等の確認等	労働関係法令を遵守している。
	職員の資質向上の取組み ・定期的な研修の実施	4	4	・関係書類の確認等	職員の資質向上の研修を定期的実施している。
(イ) 法令等の遵守 個人情報管理状況	・法令等に沿った管理運営 ・個人情報に関する研修の実施 ・マニュアルの有無	4	4	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	個人情報保護に関するマニュアルを備えている。
(ウ) 安全・衛生対策	・安全・衛生面への配慮 ・事故防止対策の有無 ・AEDの適正な管理 ・食中毒防止のための対策	5	5	・現地調査で施設の確認 ・職員へのヒアリング等	事故の予防や新型コロナウイルス感染症拡大防止に積極的に取り組んでいる。
(エ) 危機管理対策・緊急時対策	・緊急時(災害等)の対応ができる体制の整備 ・マニュアルの有無	5	5	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	危機管理マニュアルや連絡体制を整備している。
(4) 収支状況					
(ア) 経理処理状況	・一つの口座での会計 ・適正な内部監査体制	4	4	・会計帳簿と金融機関口座の照合 ・監査結果の確認等	6月29日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(イ) 経費縮減の取組状況	・光熱水費の削減 ・再委託費の適正な水準	5	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	6月29日確認
合計		89	87		
割合(合計/100点満点)		89%	87%		